

特別展「明恵の夢と高山寺」

朝日新聞創刊140周年記念

2019年3月21日(木・祝)～5月6日(月・振替休日)

中之島香雪美術館、初の特別展
鳥獣戯画 全四巻が中之島にやって来る

2018年3月に開館した中之島香雪美術館で、初めての特別展を開催いたします。

京都市の北西にある高山寺こうさんじの歴史は、鎌倉時代初頭に明恵上人みょうえしやうにん(1173-1232)が後鳥羽院から梶尾とがのおの地を与えられた頃にはじまります。その後、高山寺は明恵上人の存在とともにあり、現在もその遺徳は寺の隅々まで及んでいます。

本展では、魅力的なエピソードに満ちた「明恵」という人間に迫ります。わけても、語る上で欠かせない「明恵の夢」を切り口にします。明恵が19歳の修行期から58歳の晩年まで自分の見た夢を記した「夢記ゆめのき」は、行数にして2500行を超え、点数にして470点余りという膨大な数が現在まで伝わっています。夢、夢想、夢感など、生涯の大部分にわたる夢の記録が残り、明恵の人生の重要な側面を照らし出します。明恵の「夢記」は、しばしば「夢日記」と称されてきましたが、その位置づけは日記にとどまらず、仏教者としての真摯な修行の一環でした。

村山龍平むらやまりゆうへい(1850～1933)の収集品にも「夢記」があります。本展ではその一巻を手がかりに、各所に所蔵される「夢記」とそれに関連する絵画、彫刻作品を通して、明恵にとっての「夢」の意味を探ってみたいと思います。あわせて、朝日新聞文化財団の助成により修理が完成した全四巻の鳥獣戯画も紹介します。明恵が馳せる夢想の行方を追ってみましょう。

会 期	2019年3月21日(木・祝)～5月6日(月・振替休日) 月曜休館(ただし、4月29日、5月6日は開館) ※期間中展示替えがあります。 前期：3月21日(木・祝)～4月14日(日) 後期：4月16日(火)～5月6日(月・振替休日)
開館時間	午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
料 金	一般1,300(1,100)円、高大生800(600)円、小中生400(200)円 *()内は前売り、20名以上の団体料金 *前売り券は2019年1月15日(予定)から3月20日まで香雪美術館(御影本館)、中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、コンビニエンスストアで販売します。
主 催	公益財団法人香雪美術館、高山寺、朝日新聞社
後 援	大阪市、大阪市教育委員会 *展覧会の出品作品約60点のカラー図版と解説を収録した図録をミュージアムショップで販売予定。

内容

第1章 明恵という人

第2章 ある日の夢記

第3章 夢のあと—鳥獣戯画に引き継がれる夢

第4章 夢を継ぐもの—村山コレクションへ

みどころ

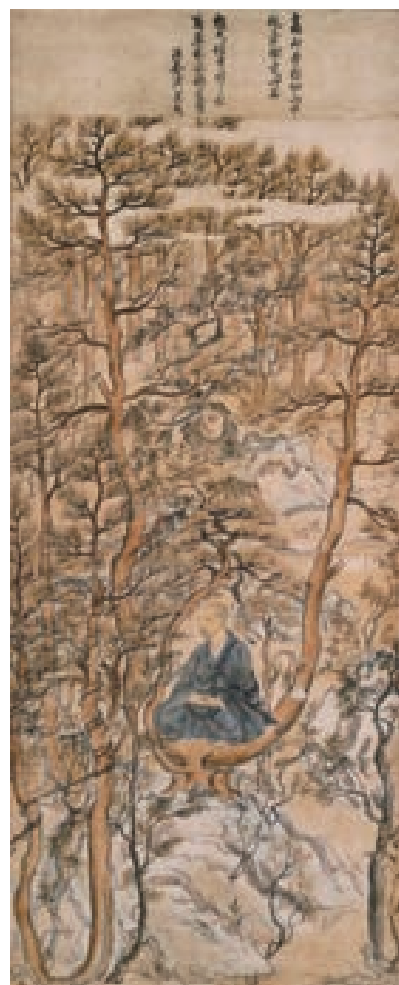
史上初、明恵のみた”夢”の展覧会

高山寺の創立者にして、稀代の夢想家である明恵^{みょうえしやうにんぞう じゆ}。「明恵上人像(樹上坐禅像)」(高山寺蔵、写真④)は、本展の象徴となる作品です。山中の木々の中、静かに夢想にふける明恵を描いています。明恵は人生の多くの時間を、こうした人間から離れた山中で過ごしました。

明恵は夢の記録「夢記」を残しました。「夢」と一口に言っても、眠っている時にみる夢のほか、修行中の瞑想の中でみた夢想なども含まれます。本展では20代の明恵が書き残した「夢記」(村山コレクション、写真⑤)を中心に、明恵が見た夢を、高山寺などに所蔵される貴重な美術品を通してイメージしてみます。

明恵の夢にしばしば登場するのが、犬です。明恵が飼い愛でていたという黒い小さな犬がイメージの源泉でしょうか。明恵在世中に造立された「子犬」(高山寺蔵、写真⑥)はそれを伝える作品です。犬と同じく夢に多く登場するのが鹿。「神鹿」(高山寺蔵、写真⑦)は、自然な動きの一瞬をとらえた名品です。明恵は春日神を信仰しており、その使いである鹿は身近な親しむべき動物でした。

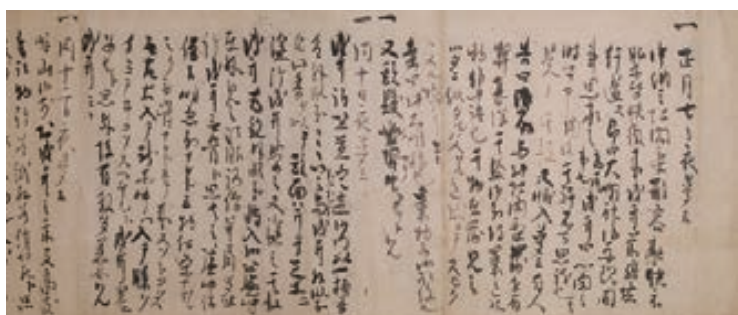
また、幼くして母と死に分かれた明恵が、母と慕った「仏眼仏母像」(高山寺蔵、写真⑧)も夢に登場し、母のように明恵を胸に抱き慈しみます。愛情や慕情といった人間的感情が、夢の中では率直に現れています。青年明恵が、修行に励む誓いの証として右耳を切り落としたのもこの「仏眼仏母像」の前でした。



国宝「明恵上人像(樹上坐禅像)」(鎌倉時代、13世紀)④
後期:4月16日~5月6日



国宝「仏眼仏母像」(平安~鎌倉時代、12~13世紀)⑧
※前・後期調整中



「夢記」(鎌倉時代、13世紀)⑤

現と夢の二つの人生

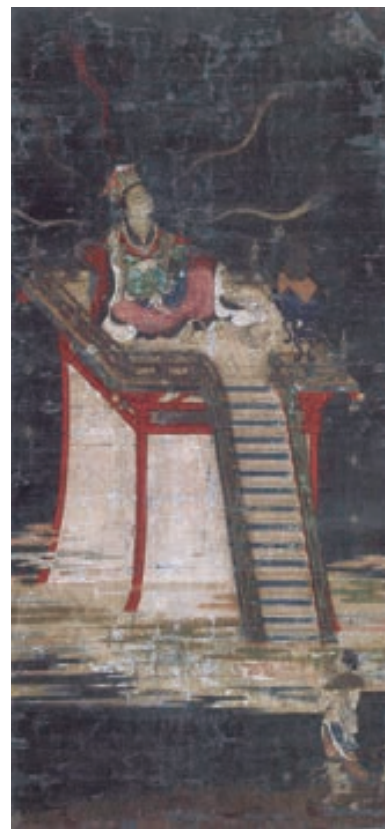
明恵の主たる活動圏は、拠点とした高山寺と、故郷である和歌山・湯浅の地、そして華嚴宗の中心である奈良・東大寺という極めて限られた範囲でした。だからこそ、明恵の夢想はとどまることを知らず、遠く海を渡り中国へ、仏教の聖地・インドへ、そして時空を超えてほとけの世界へとばたきました。

夢で釈迦やその弟子たちと邂逅し、「華嚴海会善知識曼荼羅」(東大寺蔵)や「春和夜神像」(高山寺蔵、写真④)に描かれる、善財童子や善知識(よき友人のこと)と語られます。「過去」の存在である仏や聖衆も、明恵にとっては夢中で共に生きている者たちでした。

1232年、明恵は60年の生涯を閉じました。最後に唱えたのは「南無弥勒菩薩」という言葉。弥勒菩薩の像と伝わる「菩薩像(伝弥勒菩薩像)」(高山寺蔵、写真⑤)は、それを伝える作品です。



重要文化財「子犬」(鎌倉時代、13世紀)④



「春和夜神像」(鎌倉時代、13世紀)④
※前・後期調整中



重要文化財「神鹿」(鎌倉時代、13世紀)⑤



重要文化財「菩薩像(伝弥勒菩薩像)」(鎌倉時代、13世紀)⑤
※前・後期調整中

鳥獣戯画 全四巻を公開

「鳥獣戯画」四巻（高山寺蔵、写真Ⅲ～Ⅵ）は、ウサギや蛙などの動物が擬人化され、痛快に動きまわるのが人気の作品です。高山寺に伝来しましたが、制作の状況などは今もってほとんど分かっていません。この絵巻に描かれた場面は、明恵のみる夢のように、突拍子もなく、断片的で、鮮烈な印象を残します。犬や麒麟など明恵の夢に登場する動物や聖獣も描かれており（鳥獣戯画 乙巻、写真Ⅳ）、その世界観には一脈通ずるものがあります。



国宝 鳥獣戯画 甲巻（平安時代、12世紀）Ⅲ 前期：3月21日～4月14日

※「鳥獣戯画 甲巻」は、画像利用許可が下りてからのご提供となります。11月初旬を予定。ご希望の方には改めてお送りします。



国宝 鳥獣戯画 乙巻（平安時代、12世紀）Ⅳ 前期：3月21日～4月14日



国宝 鳥獣戯画 丙巻（鎌倉時代、13世紀）Ⅴ 後期：4月16日～5月6日

明恵と村山コレクション

村山コレクションは村山龍平が収集した美術品の総称です。その中の一点「戯画図巻」（村山コレクション、写真Ⅶ）には、歴史上の多くの人物が描かれます。明恵は鼓を鳴らしながら、天神の率いる舞楽行列に並びます。鳥獣戯画の主役であるウサギや蛙も随所に登場し、絵巻の中の夢幻を演出しています。このほか、明恵や高山寺と関連する村山コレクションの作品を紹介します。



「戯画図巻」（江戸時代、17～18世紀）Ⅶ

プレス用写真一覧

ご希望の画像記号を申込書に明記し、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

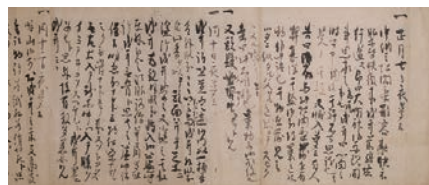
中之島香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

特別展「明恵の夢と高山寺」主な出展品画像



A



B



E



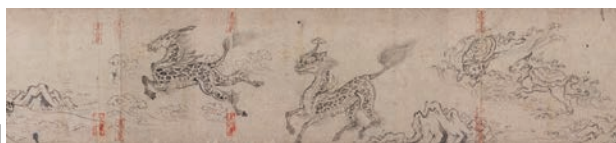
C



D



H



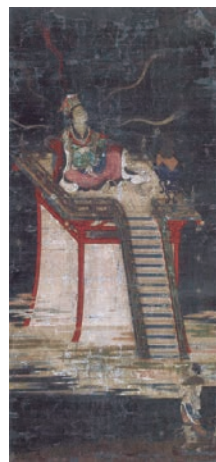
I



J



K



F



G

記号	指 定	作 品 名	時 代	所 蔵	展示期間
A	国宝	みえ しょうにんぞう じよじょうぎぜんぞう 明恵上人像（樹上坐禅像）	鎌倉時代、13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
B		ゆめのき 夢記	鎌倉時代、13世紀	村山コレクション	全期間
C	国宝	おんげんぶつもぞう 仏眼仏母像	平安～鎌倉時代、12～13世紀	高山寺	※前・後期調整中
D	重要文化財	こいぬ 子犬	鎌倉時代、13世紀	高山寺	全期間
E	重要文化財	しんろく 神鹿	鎌倉時代、13世紀	高山寺	全期間
F		しんわ や しんぞう 春和夜神像	鎌倉時代、13世紀	高山寺	※前・後期調整中
G	重要文化財	ぼさつぞう だんみろくぼさつぞう 菩薩像（伝弥勒菩薩像）	鎌倉時代、13世紀	高山寺	※前・後期調整中
H		「鳥獣戯画 甲巻」は、画像利用許可が下りてからのご提供となります。 11月初旬を予定。ご希望の方には改めてお送りします。		高山寺	前期：3月21日～4月14日
I	国宝	ちようじゆうぎが おつかん 鳥獣戯画 乙巻	平安時代、12世紀	高山寺	前期：3月21日～4月14日
J	国宝	ちようじゆうぎが へいかん 鳥獣戯画 丙巻	鎌倉時代、13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
K		ぎがずかん 戯画図巻	江戸時代、17～18世紀	村山コレクション	全期間

※記号欄(A～K)は貸出写真記号

※画像掲載の場合は、指定、作品名、時代、所蔵者、展示期間を必ず明記いただきますようお願いいたします。

※前・後期調整中の作品画像を使用ご希望の場合は、お問い合わせください。

プレス用写真一覧

ご希望の画像記号を申込書に明記し、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

中之島香雪美術館 画像



L



M



N



O

記号	名称
L	エントランス
M	茶室「中之島玄庵」
N	村山龍平記念室
O	外観

※記号欄(L～O)は貸出写真記号

——— お問い合わせ ———

「中之島香雪美術館」広報事務局 (オフィス・メイ内)

TEL 06-6204-1500 FAX 06-6204-1505 Email kosetsu@officemay.co.jp

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-3-7-6F「中之島香雪美術館」広報事務局

<http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/>

中之島香雪美術館 特別展『明恵の夢と高山寺』画像データ 使用申込書

記入日: 月 日

■ <個人情報の取り扱いについて>をご一読いただき同意の上で、ご希望写真の記号に○印をつけ、必要事項をご記入いただき、Fax または E-mail にてお申込みください。 同意する 同意しない

■ 掲載紙・誌を1部、PR 事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。

【画像データご利用にあたっての注意事項】

※画像データは、本展覧会の取材・告知以外の目的での使用は固くお断りします。

※画像データは、使用後は必ず破棄願います。また許可なく複製・保存しないでください。

※作品の文字載せやトリミングについては、お問い合わせください。

※作品掲載の際は、所定のキャプション(指定、作品名、時代、所蔵、展示期間)を必ず明記してください。

※Hは画像利用許可が下りてからの提供となります。ご希望者には 11 月初旬ごろ、改めてお送りいたします。

※前・後期調整中の作品については、お問い合わせください。

記号	指定	作品名	時代	所蔵	展示期間
A	国宝	明恵上人像 (樹上坐禅像)	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	後期: 2019.4.16~5.6
B		夢記	鎌倉時代、13 世紀	村山コレクション	全期間
C	国宝	仏眼仏母像	平安~鎌倉時代、12~13世紀	高山寺	前・後期調整中
D	重要文化財	子犬	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	全期間
E	重要文化財	神鹿	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	全期間
F		春和夜神像	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	前・後期調整中
G	重要文化財	菩薩像 (伝弥勒菩薩像)	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	前・後期調整中
H	国宝	鳥獣戯画 甲巻 <画像利用許可後にご提供>		高山寺	前期: 2019.3.21~4.14
I	国宝	鳥獣戯画 乙巻	平安時代、12 世紀	高山寺	前期: 2019.3.21~4.14
J	国宝	鳥獣戯画 丙巻	鎌倉時代、13 世紀	高山寺	後期: 2019.4.16~5.6
K		戯画図巻	江戸時代、17~18 世紀	村山コレクション	全期間

L	中之島香雪美術館 エントランス	N	中之島香雪美術館 村山龍平記念室
M	中之島香雪美術館 茶室「中之島玄庵」	O	中之島香雪美術館 外観

貴社名/部署名			
媒体名・番組名			
ご担当者名			
ご連絡先	TEL.	FAX.	
E-mail アドレス			

円滑に業務を行うために、お手数ですが下記の質問にご協力ください。

掲載・放送予定日	月 日 発売	号・放送	時ごろ
校正紙	有 (月 日頃)	・ 無	
チケットプレゼント	希望する (組 名様)	・ 希望しない	
	応募締切日: 月 日 (当日消印有効・必着)		

<個人情報の取り扱いについて>

ご記入いただいた個人情報は、取材の連絡業務、並びに当館からの情報提供に使わせていただきます。第三者への提供は行いません。

「中之島香雪美術館」広報事務局: 鈴木 Mobile: 090-8461-6001、e-mail: kosetsu@officemay.co.jp

TEL: 06-6204-1500、FAX: 06-6204-1505 〒541-0047 大阪市中央区淡路町 1-3-7 キタデビル 6 階 (南)オフィス・メイ内